

# NotePM セキュリティチェックシート

2025年4月3日時点

経済産業省が公開している「クラウドサービスレベルのチェックリスト」に基づき、NotePMのセキュリティについてまとめたものです。

No.	種別	サービスレベル項目	規定内容	測定単位	NotePM
アプリケーション運用					
1	可用性	サービス時間	サービスを提供する時間帯(設備 やネットワーク等の点検/保守のための計画停止時間の記述を含む)	時間帯	24時間365日です。(計画停止除く)
2		計画停止予定通知	定期的な保守停止に関する事前連絡確認(事前通知のタイミング/方法の記述を含む)	有無	有 実施5営業日前までに、サービス内お知らせエリア、及び、公式WEBサイト( <a href="https://help.notepm.jp/hc/ja/sections/16671605090841">https://help.notepm.jp/hc/ja/sections/16671605090841</a> )で通知します。
3		サービス提供終了時の事前通知	サービス提供を終了する場合の事前連絡確認(事前通知のタイミング/方法の記述を含む)	有無	有 現時点でサービス終了予定はありませんが、終了3ヶ月前までに公式WEBサイトにて事前に通知します。
4		突然のサービス提供停止に対する対処	プログラムや、システム環境の各種設定データの預託等の措置の有無	有無	無 現時点でサービス終了予定はありません。データの預託も未定です。
5		サービス稼働率	サービスを利用できる確率((計画サービス時間-停止時間)÷計画サービス時間)	稼働率 (%)	過去一年間 (2024年1月～2024年12月)の実績値は99.9814%でした。
6		ディザスタリカバリ	災害発生時のシステム復旧/サポート体制	有無	有 サーバは、異なる物理的な場所(Availability Zone)に複数配置し冗長化して運用しています。データセンター(AWS)はすべて国内です。
7		重大障害時の代替手段	早期復旧が不可能な場合の代替措置	有無	有 即時復旧が可能なように、データセンターの冗長化、及びバックアップの世代管理を行っております。
8		代替措置で提供するデータ形式	代替措置で提供されるデータ形式 の定義を記述	有無 (ファイル形式)	有 Markdown形式(テキストデータ)ですべてのデータがエクスポート可能です。添付ファイルも登録したままの状態でエクスポート可能です。 <a href="https://notepm.jp/help/import-export">https://notepm.jp/help/import-export</a>
9		アップグレード方針	バージョンアップ/変更管理/パッチ管理の方針	有無	有 機能追加などは随時行っております。事前告知は原則行わず、リリース後に公式WEBサイトで報告します。(軽微な場合は、この限りではありません)
10	信頼性	平均復旧時間(MTTR)	障害発生から修理完了までの平均時間(修理時間の和÷故障回数)	時間	公開しておりません。
11		目標復旧時間(RTO)	障害発生後のサービス提供の再開に関して設定された目標時間	時間	公開しておりません。
12		障害発生件数	1年間に発生した障害件数/ 1年間に発生した対応に長時間(1日以上)要した障害件数	回	回数としては公開しておりませんが、個別の障害情報は公式WEBサイトで公開しております。 <a href="https://help.notepm.jp/hc/ja/sections/16671606346521">https://help.notepm.jp/hc/ja/sections/16671606346521</a>
13		システム監視基準	システム監視基準(監視内容/監視・通知基準)の設定に基づく監視	有無	有 パフォーマンス監視、リソース監視、アプリケーションエラー監視、死活監視を常時実施しております。
14		障害通知プロセス	障害発生時の連絡プロセス(通知先/方法/経路)	有無	有 メールとチャット (Slack) にて弊社担当者に通知されます。 お客様への通知は必要に応じてサービス内、公式WEBサイト、SNSで行います。 「NotePM 障害運用マニュアル (社内用)」にて運用。 ※非公開
15		障害通知時間	異常検出後に指定された連絡先に通知するまでの時間	時間	弊社担当者への通知は即時行われます。 お客様への通知は可能な限り迅速に行います。
16		障害監視間隔	障害インシデントを収集/集計する時間間隔	時間 (分)	5分間隔で監視しております。

# NotePM セキュリティチェックシート

2025年4月3日時点

経済産業省が公開している「クラウドサービスレベルのチェックリスト」に基づき、NotePMのセキュリティについてまとめたものです。

No.	種別	サービスレベル項目	規定内容	測定単位	NotePM
17		サービス提供状況の報告方法/間隔	サービス提供状況を報告する方法/時間間隔	時間	定期的なサービス提供状況報告は行っていません。
18		ログの取得	利用者に提供可能なログの種類 (アクセスログ、操作ログ、エラーログ等)	有無	有 アクセスログ・監査ログ機能をご利用ください。 <a href="https://notepm.jp/help/access-log">https://notepm.jp/help/access-log</a>
19	性能	応答時間	処理の応答時間	時間 (秒)	公開しておりません。
20		遅延	処理の応答時間の遅延継続時間	時間 (分)	公開しておりません。
21		バッチ処理時間	バッチ処理(一括処理)の応答時間	時間 (分)	公開しておりません。
22	拡張性	カスタマイズ性	カスタマイズ(変更)が可能な事項/範囲/仕様等の条件とカスタマイズに必要な情報	有無	無 機能・デザインの個別カスタマイズは対応しておりません。
23		外部接続性	既存システムや他のクラウド・コンピューティング・サービス等の外部のシステムとの接続仕様 (API、開発言語等)	有無	有 NotePM API <a href="https://notepm.jp/docs/api">https://notepm.jp/docs/api</a>
24		同時接続利用者数	オンラインの利用者が同時に接続してサービスを利用可能なユーザー数	有無 (制約条件)	無 同時接続利用者数の制限はありません。
25		提供リソースの上限	ディスク容量の上限/ページビューの上限	処理能力	有 プランに応じて、利用可能なストレージ容量の上限があります。(有料オプションにて増設可能)
サポート					
26	サポート	サービス提供時間帯(障害対応)	障害対応時の問合せ受付業務を実施する時間帯	時間帯	24時間365日となります。(メール・お問い合わせフォーム)
27		サービス提供時間帯(一般問合せ)	一般問合せ時の問合せ受付業務を実施する時間帯	時間帯	月～金曜日 10:00 ～ 17:00(年末年始、祝日等は除く)となります。
データ管理					
28	データ管理	バックアップの方法	バックアップ内容(回数、復旧方法など)、データ保管場所/形式、利用者のデータへのアクセス権など、利用者に所有権のあるデータの取扱方法	有無/内容	有 過去35日間のデータを復元できるよう、1日1回以上のバックアップを行っております。バックアップデータへのアクセスは、限られた一部の担当者の方に制限されています。 データは国内のデータセンター(AWS)に保存。
29		バックアップデータを取得するタイミング (RPO)	バックアップデータを取り、データを保証する時点	時間	毎日午前3時頃に取得します。
30		バックアップデータの保存期間	データをバックアップした媒体を保管する期限	時間	バックアップデータの保存期間は最大で35日間となります。
31		データ消去の要件	サービス解約後の、データ消去の 実施有無/タイミング、保管媒体の破棄の実施有無/タイミング、 およびデータ移行など、利用者に所有権のあるデータの消去方法	有無	有 サービス解約時に直ちにデータを削除します。必要に応じてサービス解約前にデータエクスポート可能です。
32		バックアップ世代数	保証する世代数	世代数	35世代を保管しています。
33		データ保護のための暗号化要件	データを保護するにあたり、暗号化要件の有無	有無	有 TLSv1.2で通信を暗号化しています。(TLSv1.0、1.1は無効化) データベース・ファイルともに暗号化しております。 また、パスワードなどの機微な情報はアプリケーションレベルでも暗号化しています。
34		マルチテナントストレージにおける キー管理要件	マルチテナントストレージのキー管理要件の有無、内容	有無/内容	有 お客様の契約チームごとに、論理的に分離されたデータ領域で管理しています。
35		データ漏えい・破壊時の補償/保険	データ漏えい・破壊時の補償/保険の有無	有無	無 損害賠償保険には加入していませんが、利用規約に定められた範囲でお客様のデータ保護に最大限の注意を払います。

# NotePM セキュリティチェックシート

2025年4月3日時点

経済産業省が公開している「クラウドサービスレベルのチェックリスト」に基づき、NotePMのセキュリティについてまとめたものです。

No.	種別	サービスレベル項目	規定内容	測定単位	NotePM
36		解約時のデータポータビリティ	解約時、元データが完全な形で迅速に返却される、もしくは責任を持ってデータを消去する体制を整えており、外部への漏えいの懸念のない状態が構築できていること	有無/内容	有 サービス解約時にデータを削除します。お客様は、必要に応じてサービス解約前にデータエクスポート可能です。
37		預託データの整合性検証作業	データの整合性を検証する手法が実装され、検証報告の確認作業が行われていること	有無	有 データの整合性検証作業を行っております。通信経路はTLSにより盗聴、改ざんを防いでいます。
38		入力データ形式の制限機能	入力データ形式の制限機能の有無	有無	有 入力項目の要件に合わせて形式や長さのチェックを行っています。
セキュリティ					
39	セキュリティ	公的認証取得の要件	JIPDECやJQA等で認定している情報 処理管理に関する公的認証 (ISMS、プライバシーマーク等) が取得されていること	有無	有 ISO 27001 (ISMS)、プライバシーマーク(JIS Q 15001)を取得しています。  ISMS: 認定番号 IS 803943 プライバシーマーク: 認証番号 第17001924号
40		アプリケーションに関する第三者評 価	不正な侵入、操作、データ取得等への対策について、第三者の客観的な評価を得ていること	有無/実施状況	有 外部のセキュリティ専門会社によるアプリケーション脆弱性検査、クラウド診断を定期的に実施しております。
41		情報取扱環境	提供者側でのデータ取扱環境が適切に確保されていること	有無	有 データへのアクセスは、業務上必要な一部の担当者の上に明確に制限しております。 また、ファイアーウォールで弊社環境からのみアクセスできるように制限しております。
42		通信の暗号化レベル	システムとやりとりされる通信の暗号化強度	有無	有 TLSv1.2で通信を暗号化しています。
43		会計監査報告書における情報セキュ リティ関連事項の確認	会計監査報告書における情報セ キュリティ関連事項の監査時に、担当者へ以下の資料を提供する旨「最新のSAS70Type2監査報告書」「最新の18号監査報告書」	有無	無 実施しておりません。
44		マルチテナント下でのセキュリティ 対策	異なる利用企業間の情報隔離、障害等の影響の局所化	有無	有 お客様の契約チームごとに、論理的に分離されたデータ領域で管理しています。
45		情報取扱者の制限	利用者のデータにアクセスできる利用者が限定されていること 利用者組織にて規定しているアクセス制限と同様な制約が実現できていること	有無/設定状況	有 データへのアクセスは業務上必要な一部の担当者の上に制限されています。
46		セキュリティインシデント発生時のトレーサビリティ	IDの付与単位、IDをログ検索に利用できるか、ログの保存期間は適切な期間が確保されており、利用者の必要に応じて、受容可能に期間内に提供されるか	設定状況	IDは個人ごとに発行して管理しています。 アクセスログは無期限で保存しています。
47		ウイルススキャン	ウイルススキャンの頻度	頻度	リアルタイムスキャンを行っております。 (Trend Micro Cloud One – Workload Security)
48		二次記憶媒体の安全性対策	バックアップメディア等では、常に暗号化した状態で保管していること、廃棄の際にはデータの完全な抹消を実施し、また検証していること、USBポートを無効化しデータの吸い出しの制限等の対策を講じていること	有無	有 二次記憶媒体の利用を禁止しています。

# NotePM セキュリティチェックシート

2025年4月3日時点

経済産業省が公開している「クラウドサービスレベルのチェックリスト」に基づき、NotePMのセキュリティについてまとめたものです。

No.	種別	サービスレベル項目	規定内容	測定単位	NotePM
49		データの外部保存方針	データ保存地の各種法制度の下におけるデータ取扱い及び利用に関する制約条件を把握しているか	把握状況	把握しております。
50		ログの種類	取得しているログの種類について	有無	有 AWS：操作ログ、アクセスログ OS：システムログ、認証ログ、監査ログ、各種リソース使用状況（CPU/メモリ/DISK/プロセス）ログ ミドルウェア：実行ログ、アクセスログ、エラーログ アプリケーション：エラーログ、操作ログ
51		WAFについて	WAFを導入しているか	有無	有 具体的な製品名等は差し控えさせていただきますが、OWASP Top10に対応したルールを採用しています。
52		IDSについて	IDS（不正侵入検知システム）は機能しているか	有無	有 Amazon GuardDuty というマネージド型脅威検出サービスを利用して監視しています。
53		セキュリティパッチについて	セキュリティパッチ適用はどのぐらいの周期で実施されているか	頻度	1ヶ月に1回の定期運用で実施しています。 緊急性の高い場合は即時対応しています。
54		セッションについて	セッションタイムアウトの時間は何分か	頻度	ユーザー側の管理者の設定により5分から4週間までの期間設定が可能です。